

土砂災害警戒避難に係わる前兆現象情報検討会

課題(検討に至った経緯)

- 土砂災害による人的被害
 - ・平成16年度梅雨前線、台風等(死者・行方不明者62名)
 - ・平成17年台風14号等(死者・行方不明者30名)
- 課題
 - ・多くの市町村で避難勧告が発令されていない
 - ・住民の自主避難があまりなされていない

・大規模降雨災害対策検討会
土砂災害分科会

- 前兆現象情報の活用が有効
 - ・避難勧告の判断基準
 - ・住民の自主避難等の判断基準

土砂災害警戒避難に係わる前兆現象情報検討会

検討内容

- (1)前兆現象の分析
 - ①土砂災害発生プロセスと前兆現象
 - ②前兆現象と危険度レベル
 - ③観測方法
- (2)前兆現象の活用の検討
 - ①巡視方法と前兆現象
 - ②市町村防災体制への活用方策
 - ③前兆現象の普及方法
 - ④防災教育の内容

検討会メンバー

石川芳治(砂防学:東京農工大学農学部教授)
北 俊夫(教育学:岐阜大学教育学部教授)
土屋 智(砂防学:静岡大学農学部教授)
中森広道(災害社会学:日本大学文理学部助教授)
桧垣大助(砂防学:弘前大学農学部教授)
村上隆博(防災行政:神奈川県県土整備部
砂防海岸課長)(委員名:五十音順)

想定される成果

- (1)前兆現象の分析
 - ①避難勧告等の基準となる前兆現象の提示
 - ②前兆現象の観測(発見)方法
- (2)前兆現象の活用
 - ①市町村防災体制への活用方策
 - ・避難勧告等の客観的な発令基準
 - ・巡視のポイント
 - ・情報収集・伝達体制
 - ②防災知識の普及方法
 - ・前兆現象の認識度の向上方策
 - ・発見後の対応(自主避難の意識向上)等

検討会以降の対応

市町村防災体制への活用
(地域防災計画への掲載等)

防災教育・防災知識普及への活用

土砂災害防災訓練での活用